

事業計画書

事業名	自殺者防止・減少浸透支援活動
実施場所	沼津市内公共会議室等予定
実施予定期間	平成30年 4月1日～平成31年3月31日

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>現在、社会的問題・経済的問題などを背景とした自殺が増加傾向であり、総合的な自殺対策事業が検討されています。</p> <p>そのため、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、平成24年に厚生労働省が「自殺総合対策要綱」を定めるとともに、平成29年に静岡県が「ふじのくに自殺総合対策行動計画」を定めています。</p> <p>沼津市については、平成30年度制定に向けた取り組みを進めていく予定となっており、今後はそれぞれの自治体において対応策の検討が進んでくる見込みです。</p> <p>当団体は、これまで県内各地で「ゲートキーパー養成講座」と名をうち、自殺を止めるための活動を行ってきましたが、現実的な認知度は低い状況でありました</p> <p>そのため、今後の施策として、一人の専門家(ゲートキーパー)より、多くの市民の参加による見守りができる環境を整備するために、次の事業を実施します。</p> <p>【実施内容】</p> <p>市内の中小企業の担当者を対象に、ゲートキーパーの現状・必要性を理解してもらい、メンタルヘルスと共に自殺への対策を企業内から社内・社員へ発信するものとする。</p>
4月～7月	<p>①精神保健福祉センターとゲートキーパーとの連携、事前調整</p> <p>②商工会議所等のバックアップ及び連携</p> <p>③その他関係部署との連携</p>
8月～2月	<p>④各企業の担当者への「ゲートキーパー養成講座」を開催</p> <p>⑤実施の中に、各担当者との「振り返り」と「意見交換」の時間を設ける</p>
2月～3月	<p>⑥上記の活動を通じ、次年度への対応制度を上げていく。</p>

◎事業効果

※事業の効果に記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

今までの「ゲートキーパー」は地域の保健師や民生委員等、直接人と関わる人を中心に展開してきたが、より現場に近い職場にいる社会で関わることで、「ゲートキーパー」への関心の向上や、「孤独・孤立」からの脱却のための支援が期待できる。また、関わることや見守ることでの、日常のコミュニケーションの向上がはかられ、居場所の確保につながる。

さらに、企業等多くの人が集まる組織の中で、「ゲートキーパー」に関わることで、根本的な「メンタルヘルス」への良い影響も期待でき、組織としても「リスク管理」につながる。

この支援活動を継続することで、沼津市で働く職場の人と人との関わりが「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」への第一歩となる。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等に記載して下さい。</p> <p>自殺というリスクを減らし、企業や地域での直接的な損失、残された遺族に対する心的・経済的損失の軽減をはかる。</p>
発展性	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>より多くの理解者が増えることで、人への関心や、温かい気持が育つ環境が出来ていく。大人が自尊感情を持つ事で、地域や将来の子どもたちのためにも、有益である。</p>
地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <p>わずらわしさ（付き合い、普請）とは別の、気に掛ける、気遣うことで、地域コミュニケーションの向上が見込まれる。活気のある企業の近隣にも、その元気はつたわり、相乗効果も見込める。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <p>コミュニケーション力が低下している現代においては、「孤立・孤独」に陥りやすいことから、自殺に追い込まれないためにも、この関わりや支援は必要である。</p> <p>また、同事業は収益性があるものではないことから、財源の確保については行政・財団等の助成金が必要である。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <p>ある一部の地域や人達への情報提供だけではなく、多く（出来れば全て）の人に、自尊感情を含めたかかわり方を、座学と実践の研修から身につける研修（アクティブラーニング）を全国に先駆けて行うことに意義がある。</p>
継続性	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <p>同事業は収益性があるものではないことから、財源の確保については行政・財団等の助成金が必要であるものの、企業等の理解による協賛金等の確保により財源を確保していくことも検討していきたい。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

自殺を防ぐことは、単に1人の命が無くなるだけではなく、遺族という問題も同時に発生します。家庭・職場・学校などでは、家族や同僚、同級生などが同時に自責の念を負い、同時に自殺のリスクを負うデータも出ています。命の重さを表現するには、ふさわしくないかも知れませんが、リスク管理という視点では最大の高い公益性を有すると思います。